

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

観光まちづくり企画提案事業をご紹介します

住民の皆様の手による観光まちづくり活動を支援するための「観光まちづくり企画提案事業」では、今年度は6事業(団体)に補助金を交付し、現在様々なプロジェクトが進行中です。その中で、今回は以下の2団体の事業をご紹介します。

C*Tetra(シーテトラ)「外国人観光者向け Useful Map 作成」

4人のメンバーで構成される団体 C*Tetra(シーテトラ)では、近年急増している外国人観光客向けの、英語表記のマップ(Useful Map)を作成する事業を行っています。このマップは、河口湖駅の徒歩圏内にある店舗(飲食店・土産物店等)を対象にし、片面に情報一覧、もう片面に各店舗の位置がわかる地図を掲載しています。また、緊急時の避難所や病院の情報も掲載しており、観光と利便性を兼ね備えたマップになっています。A3両面カラーで、約1万部の発行を予定しており、3月下旬には河口湖駅等で配布する予定です。



富士山麓んめえ～もん倶楽部

「富士河口湖特産 辛味調味料 “ふきこしょう” 開発事業」

食を通じたまちづくり活動を行っている富士山麓んめえ～もん倶楽部では、町内で採れたふきのとうと青なばんを使用した新しい辛味調味料「落臺なばん」を開発し、地元の食のPRを行っています。これは元々、西湖のニジマス・ヒメマスを使用した新名物「富士まぶし」に添える調味料として開発されたものですが、その風味とインパクト、珍しさから好評を博し、今回製品化が実現しました。1月～2月に行われた西湖樹氷まつり期間中の土日4日間で試験販売を行ったところ、用意した50個全て完売し、新たな調味料への関心の高さを表す結果となりました。倶楽部では、今後も製品の改良や安定的な供給を確保するため、研究・開発を行っていく予定です。



多言語対応ガイドライン講習会が開催されました

2月16日(月)、観光庁が策定した『観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン』を学ぶ講習会を開催しました。このガイドラインは、例えば「河口湖」の英語表記が、今までは“Kawaguchiko”や“Lake Kawaguchi”、“Lake Kawaguchiko”といった形で印刷物や看板等によってそれぞれ異なった形で表記されていましたが、これらを外国人に伝わり易い表記に統一するための指針を示しています。表記の統一を図ることにより、円滑な案内や非常時等の対応、日本文化の発信など、外国人観光客の受入環境向上につながります。今回は、このガイドラインの講習会に、町内外の観光関係者、印刷会社等約70名が参加されました。

